

1 学校教育目標

考えの深い 心の豊かな 実行力のある子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○「通いたい学校」：児童が安心・安全に過ごすことができ、「できた・分かった」を体感できる学校 ○「通わせたい学校」：開かれた学校を推進し、保護者・地域が児童の健やかなる成長を実感できる学校 ○「勤めたい学校」：教職員が協働し支え合い、児童の笑顔から活力をもらえる学校
○児童・生徒像	○最後まで挑戦する児童 ○健康で自他を大切に行動できる児童 ○学びを生活に生かす児童 ・自ら考え、行動して、自己をよりよく高めていく子 ・相手を思いやり、互いに磨き合って、豊かに関わり合える子
○教師像	○常に向上心を持ち、児童と一緒に伸びようとする教師 ○教材研究と授業改善に努め、児童に成就感と達成感を与えられる教師 ○優しさ、温かさ、厳しさをもって指導し、児童に「愛されている」と実感させられる教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

《現状》

- ・学校…学力定着・学力向上を最重点にキャリア教育の視点も教育活動全体の基本に置きながら、地域の特色を生かす教育を進めている。
- ・児童…明るく素直な児童が多く、地域・P T Aの行事にも積極的に参加している。
- ・教師…教育活動に熱心に取り組む。校内O J Tの充実・研究研修により指導力の向上を図っている。
- ・地域・保護者…遺跡や寺町など、地域の文化的環境に恵まれている。強い協力関係である。

《前年度の成果と課題》

- 6年間保存用「家庭学習の手引き」を活用し、全学年が自主学習ノートで主体的な学習の取組が定着した。今後も学力向上へとつなげていく。
- いじめの根絶や不登校の解消は、取組の効果を実感できている。今後も取組を継続していき、個に応じた対応をしていく。
- キャリア教育は、本校の特色ある教育活動として定着している。地域との連携の意味でも、さらなる人材活用を図っていく。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	◎	◎
2	豊かな心の育成及び体力の向上	○	○	○	○	○
3	地域社会に開かれた教育	○	○	○	○	○

5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
自主・連携 最後まで挑戦し続ける児童の育成		令和5年度目標通過率88% 到達度確認テスト2月75%				自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	学力の定着 「自主学習 ノート」 「ICT 活用 による補習・ 補充学習」	全学年 全教科	通年 (4月～)	【指導者体制】全教員 【取組みのねらい・目的】 主体的な学習習慣の形成 【方法】◇「家庭学習の手引 き」(6年間保存版)、自主学 習ノート(学年共通)の活用 ◇AIドリルの活用	◇学習時間状 況調査 ◇自主学習ノ ートの点検(毎 週) ◇朝学習での 活用状況調査	◇隔月各学年の 学習目標時間達 成率85%以上 ◇自主学習ノート の提出率80% ◇AIドリル活用 率100%	自己評価の際に記入		
2 継続	課題解決学 習「言語活 動の充実」 「ICT による 情報活用」	全学年 全教科	研究授 業 (6回) OJT 研 修(随 時)	【指導者体制】全教員 【取組みのねらい・目的】課 題設定力・思考力・判断力・ 表現力の育成。 【方法】◇聞く・話す・書く・伝 え合う活動の実施 ◇検索やプレゼン機能の活用	◇管理職等による授業観察と 指導・助言 ◇校内協議会 ◇教員による ICT 評価	◇2月に実施する到達度確認テ ストで、目標値を 通過する児童 75%以上 ◇ICT 活用評価 80%以上			
3 継続	図書と ICT の活用 「読書の充 実」「情報の 収集・選択・ 活用」	全学年 生活科・ 総合的な 学習全教科	通年 (4月～)	【指導者体制】 教員＋図書・ICT 支援員 【取組みのねらい・目的】 読書習慣と調べ学習の推進 【方法】◇図書・インターネット 資料を用いた情報の収集・選 択・整理・活用の仕方を学ぶ。	◇全学年「お すすめの本紹 介」の取組 ◇調べる学習 コンクール等への参加状況	◇「おすすめの本紹介」1人1冊 以上 ◇調べる学習コ ンクール等への参加昨年度以上			

重点的な取組事項－2		豊かな心の育成及び体力の向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自主・連携 健康で自他を大切に行動できる児童の育成		学校評価アンケート「児童の様子」の肯定的評価 80%以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
挨拶の励行・ 人権意識の向上	◇学校評価アンケート「挨拶」の肯定的評価 90%以上 ◇校内人権研修、道徳授業公開講座の実施	◇「挨拶運動」を全学級で実施する(年1回以上)。 ◇ユニバーサルデザインによる全教室の整備(掲示物等)。	自己評価の際に記入		
いじめの根絶・不登校の解消	◇ハイパーQU を活用した校内研修の実施と学級経営・教育相談の充実 ◇いじめアンケートや相談BOX の活用で未然防止と早期発見・解消	◇校内委員会を中心に全教職員で情報を共有し、SC や関連機関との連携による児童のよさや可能性を伸ばす指導。 ◇年間3回アンケートを実施。 ◇代表委員会による「いじめ根絶標語」作り(6月実施)。			
異学年活動の充実	◇特活行事の振り返り、クラブ・委員会活動の振り返りの肯定的自己評価で80%以上	◇異学年活動の充実(縦割り班、クラブ・委員会活動) ◇特別活動の充実(ユニセフ募金、エコキャップの回収、ゴミゼロ清掃活動等の活動を全校で実施)。			
健康・体力の向上	◇安全指導教室の実施(年間3回) ◇体力テスト(持久力・敏捷性の向上)、食育の講話(年間2回)実施	◇交通安全教室、セーフティ教室、薬物乱用防止教室実施 ◇運動習慣の形成(なわ跳びカード、持久走カード)。各種給食ウィークの取組実施。			

重点的な取組事項－3		地域社会に開かれた教育 ～学校教育活動の「見える化」～			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自主・連携 学びを生活に生かす児童の育成		学校評価アンケート「見える化」 肯定的評価 80%以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者・開かれた学校づくり協議会による年間2回以上の学校評価アンケート	◇2回の学校評価アンケートの平均回収率 70%以上 ◇各項目肯定的評価 70%以上	◇学校評価アンケートを実施(年2回、6月・10月予定)。 ◇学校公開期間中に、授業診断を行い、結果を授業改善に生かす。	自己評価の際に記入		
幼保小中連携教育	◇小1プロブレム問題発生ゼロ ◇中1ギャップ問題発生ゼロ	◇あだち幼保小接続期カリキュラムについて実践・実施状況調査。 ◇幼保連携園5歳児と児童との直接交流。教員の交流研修。 ◇小中連携校との教科研究、授業公開協議会の実施。 ◇小中連携校との合い言葉「かみきそあじ」の徹底。			
キャリアタイム 「将来の夢や希望をもたせることによる、自己肯定感や学習意欲の向上」	◇全学年対象。学習への内発的動機の喚起 ◇自己肯定感や学習意欲の向上	◇地域人材の活用、外部講師の活用による講話。年8回以上 ◇実施後のレポート(毎回) ◇学力調査の意識調査。学習意欲や将来の希望について調査と学力状況との相関について調査・分析。			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

自己評価の際に記入します。
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）